

事業番号	09 07 01	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	農業を支える新たな担い手を育てる事業	部局	農政部	課・室	農村振興課
		実施期間	S42 ~	E-mail	noson@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	③人口の社会増を実現		⑥様々な人の労働参加を全国トップに		
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進	2-5 地域に根差した産業の振興	5-1 多様性を尊重する共生社会づくり		

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ○県・市町村・JA・農業法人が一体となり、就農から定着までの就農促進活動により、意欲ある若い世代の新規就農者を確保・育成し、本県の農業生産を支える担い手の育成を目指す。 ○参入者・女性農業者など多様な担い手の経営発展の支援を行い、地域農業を担う中核的経営体として育成し、農業・農村を牽引するリーダー育成を目指す。 ○農業を志向する者等に対し、農業を学ぶ場の提供等を行い、農業・農村に多様な人材を呼び込み活性化を目指す。 	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> ○県下10広域ごとに就農促進プロジェクト協議会を設置し、関係機関と一体となった就農促進活動を展開。 ○就農前から就農後のレベルに応じ、県域または地域ごとに研修等を実施し、就農から定着、経営発展を支援。 ○「農ある暮らし相談センター」を開設し、相談対応にあたり、SNSで農ある暮らしの魅力を発信。 ○求職者×農業マッチングにより、農業分野の雇用人材確保を支援。 	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響等社会変化を踏まえ就農希望者のニーズを確実に掴み、的確に対応することが必要。 ・地方回帰への関心が高まる中、県外者に「農ある暮らし」の魅力を届け、移住促進へとつなげることが必要。 ・コロナ禍で労力不足に見舞われた高原野菜産地等、外国人技能実習生に頼った生産構造からの転換が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによる全国各地から就農相談できる機会を提供し、コロナ禍における相談体制とサポートを強化。 ・農ある暮らしのオンラインセミナー等、コロナ禍においても情報発信を継続するとともに、市町村と連携した取組みを強化。 ・産業労働部と連携し、コロナ禍で増加する求職者への農業分野の情報発信を強化し、求人農家とのマッチングを推進。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ✓信州農業エグゼクティブMBA研修開講 ・一般企業並みの農業経営実現に向けた経営スキルを学ぶための研修 ・受講者には、規模拡大や多角化など経営発展を支援 ✓新規就農者育成総合対策の活用による就農者等の確保 ・研修への支援、経営開始への支援及び雇用就農への支援 ✓農業分野の雇用人材を安定的に確保していく仕組みの構築 ・外国人労働者の受入れ構築のための働き方改革の促進 ・ハローワークと連携した求人×求職マッチング(ハローワークにおける個別相談会の開催) ・多様な雇用人材が就業、定着するための農家等の意識醸成 	<p>コロナ禍の求職者を農業分野が支える!</p> <p>正規社員 派遣社員 非正規・パート</p> <p>農業分野 就業先(例)</p> <table border="1"> <tr> <td>通年雇用</td> <td>短期雇用</td> <td>パート</td> <td>副業</td> </tr> <tr> <td>農業法人 大規模経営体</td> <td>野菜農家 花き農家 果樹農家 農産物直売所 産果場 観光農園等</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	通年雇用	短期雇用	パート	副業	農業法人 大規模経営体	野菜農家 花き農家 果樹農家 農産物直売所 産果場 観光農園等		
通年雇用	短期雇用	パート	副業							
農業法人 大規模経営体	野菜農家 花き農家 果樹農家 農産物直売所 産果場 観光農園等									
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<p>【DX】就農相談をオンラインで実施することにより、相談者と職員双方の負担を軽減し、相談の充実を図る。また、セミナーをオンラインで開催し、受講者や講師となる女性農業者の負担を軽減し、内容の充実を図る。</p> <p>【共生社会づくり】多様な雇用人材の就業に対して、障がい者の雇用の場を提供する。</p> <p>【学びの県づくり】就農体験研修や里親研修等他産業に従事した方に対し、農業を学ぶ機会を提供する。また、定年帰農講座やライフスタイルに応じた農ある暮らしを提案し、体験・学びの機会を提供する。</p>									

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	新規就農者数(45歳未満)	人	190	↓	173	↓	集計中	250
2	農業リーダーの認定者数	人	35	↓	30	↓	集計中	50
3	中核的経営体数	経営体	9,693	↑	9,948	↑	集計中	10,000
4	農ある暮らし体験研修・セミナーの受講者数	人	-	-	-	-	集計中	100
5	就業マッチング成立件数	人	-	-	-	-	集計中	500

事業コスト	区分(単位:千円)		R2年度	R3年度	R4年度
	予算額	前年度繰越	3,463,492	101,375	
		当初予算	1,086,126	1,155,771	要求 1,228,427 予算案 1,303,269
		補正予算	1,102,074	245,505	
		合計(A)	5,651,692	1,502,651	要求 1,228,427 予算案 1,303,269
		うち一般財源	1,301,018	33,540	要求 239,035 予算案 101,428
	決算額(B)	5,123,174			
職員数(人)		17.9	17.9		

設定理由	成果指標	<ol style="list-style-type: none"> 1.農業生産の大宗を担う中核的経営体を確保・維持するために必要な同経営体へと育成する「新規就農者数」を設定 2.地域の農業農村のリーダーとして本県農業の推進役となっただけのため、知事が認定する「農業士」「農業経営士」及び「農村生活マイスター」の「認定数」を設定 3.農業生産の大宗を担い、維持するために必要な「中核的経営体数」を設定 4.多様な人材を本県の農業農村に呼び込み、定着を図るため、定年帰農や田舎暮らし等、多様な農ある暮らしに関する体験研修・セミナーの受講者数を設定 5.農業分野の雇用人材の安定確保を図るために必要な求人農家と求職者との就業マッチングの「成立件数」を設定
	目標値	<ol style="list-style-type: none"> 1.中核的経営体を安定的に確保・育成する計画に基づき新規就農者数を設定 2.各協会の活動母体となる支部数に基づき設定 3.直近7か年の実績等を考慮し設定 4.セミナー等計画受講者数 5.農業法人の雇用状況調査結果等に基づき設定

予算要求からの主な変更点	<ul style="list-style-type: none"> ・就農サポート事業について、新規就農者育成総合対策の補助金交付事務の一部が、全国農業会議所に変更されたことにより、事業費を減額 ・経営体育成支援事業について、国において経営発展支援事業が新設されたことにより、事業費を増額
--------------	---

事業番号	09 07 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業を支える新たな担い手を育てる事業			部局	農政部	課・室	農村振興課	

細事業 No.	細事業名		R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
1	農業リーダー育成事業		7,983 千円	7,380 千円	要求 予算案	14,225 13,170 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)				
1	農業リーダー認定・研修	直接	地域の営農やコミュニティ活動をけん引するリーダーを育成するため、農業リーダーの認定・研修等の支援を実施				
2	信州農業エグゼクティブMBA研修事業	直接	売上10億円を目指し、経営発展を図るためのスキルを身につけ、エグゼクティブな経営者へ成長することを目的とした研修を実施				
3	農作業セーフティアップ事業(農作業安全の啓発)	直接	農作業死亡事故の削減を図るため、事故割合の高い高齢者の安全指導強化や、リスク回避対策の指導を実施				

細事業 No.	細事業名		R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
2	就農サポート事業		901,533 千円	906,955 千円	要求 予算案	987,849 884,102 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)				
1	新規就農サポート事業	直接 委託 補助金	県内外の就農希望者を呼び込むため、相談活動やウェブサイトの運営を支援(補助・委託先:(公社)長野県農業担い手育成基金)				
2	就農促進プロジェクト・体験研修支援事業	直接 補助金	就農希望者の円滑な就農・定着化を進めるため、市町村・JA・農業法人等が一体となり就農促進活動や、体験研修受け入れを支援(補助先:県農業経営者協会、県農業法人協会)				
3	新規就農者育成総合対策	補助金	就農に向けた研修資金、経営開始資金を交付 農業教育機関(研修機関)における農業教育の高度化、充実のための取組を支援(補助先:市町村、県農業大学校等)				
4	農業の未来の担い手支援事業	直接	若年層に農業を職業として選択できる環境を整えるため、農業理解を促す農業の魅力発見セミナーや農業法人見学会などを実施				

細事業 No.	細事業名		R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算		
3	農業大学校研修事業		23,388 千円	26,659 千円	要求 予算案	26,818 26,818 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)				
1	就農支援・技術力向上支援・農とのふれあい研修	直接	就農希望者や参入者の就農を支援するため、農業の基礎知識や技術習得など多様なニーズに応える各種研修の実施				

事業名	農業を支える新たな担い手を育てる事業	部局	農政部	課・室	農村振興課
-----	--------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
4	NAGANO農業女子ステップアップ支援事業	3,333 千円	1,216 千円	要求 予算案	2,216 2,216 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	農業女子のスキルアップ支援と情報発信	直接 補助金	農業女子の経営発展と農業の魅力発信を図るため、マルシェ等の販促活動、スキルアップセミナー、女性のための就農オンラインセミナー・相談会を実施 女性が働きやすい環境整備への支援		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
5	農ある暮らし応援事業	6,719 千円	8,574 千円	要求 予算案	8,022 8,022 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	農ある暮らし応援事業	直接	農業未経験者の就農・定着を図るため、発信力を強化するとともに、農ある暮らしの相談・体験・学びの機会の提供		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
6	農業トップランナー応援事業 (農業労働力の安定確保支援事業)	1,186 千円	6,061 千円	要求 予算案	6,131 6,047 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	外国人労働者の受入れ体制の構築	補助金	・農業の働き方改革の推進(研修会の開催等) (補助先:JA長野県農業労働力支援センター)		
2	雇用人材の確保支援	直接	・求人マッチング支援員の配置 ・ハローワークにおける個別相談会の開催		
3	農福連携の推進	直接 補助金 委託	・マッチングアプリの開発(補助先:JA長野県農業労働力支援センター) ・JA等による地域体制の構築(委託先:JA等) ・農家及び福祉関係者の先進地視察・研修、就農体験などの展開		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
7	経営体育成支援事業	141,984 千円	198,926 千円	要求 予算案	183,166 362,894 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	経営体育成支援事業	補助金	・地域農業の担い手となる経営体を育成するため、経営規模拡大等を図るために必要な農業用機械等の導入を支援 (補助先:市町村)		